

# 1 「ちょこっと就労」とは？

▶ 介護施設における介護に付随する業務に、週数日、数時間程度の頻度で従事するパートタイム（短時間）就労のことです。

● 介護施設においては、利用者の生活に深くかかわるサービスを提供する関係上、介護の専門的な資格・技能が不要な仕事が付随しており、介護職員の負担となっている場合があります。



食事の配膳・下膳



居室の掃除



衣類の洗濯



着替えやタオルの準備

● 「ちょこっと就労」では、そういった補助的な業務を介護職員の代わりに担ってもらうことで、人手不足をカバーし、介護職員の負担を減らすこと、また、介護職員が専門的な介護業務に専念できる状況にすることで、介護の質を高めることをねらいとしています。

# 2 「ちょこっと就労」参加事業所のメリット

・ちょこっと就労者を雇用したことによるメリットについて、参加事業所の声を紹介します。

## ● 業務の負担軽減

- ・週に数回の数時間の雇用だが、配膳下膳など忙しい時期に来ていただき非常に助かっている。
- ・介護職員の雑務を代わりに行ってくれるため介護に専念できている。
- ・今までは、ちょっとした事でも介護職員が行わなくてはならなかったが、ちょこっと就労者を採用してからは、その業務を任せることができ、職員に時間が生まれ、他の事を行えるようになった。
- ・2時間業務だが、ポイントをおさえた業務に関わってもらっているのが有難い。

## ● 職員、職場への影響

- ・人と人との関わりを大切にしてくれている様子がわかる。一緒に働く若い職員に対し、温かく接してくれている。
- ・指示した事等を丁寧に行ってくれる。指示以外にも自分の考え等を出したり行ってくれる。する際には必ず職員に提案してくれる。
- ・些細なことも報告や相談をしていただけるため、業務の改善の一助となっている。衣類整理や掃除など、ベテランならではの細部にわたる丁寧な仕事をしていただけるため、安心感がある。非常にまじめである。

## ● 利用者への影響

- ・入浴の際など、片付けに介護職がつく必要があったが、そういったことを任せることで介護職が利用者に寄り添う時間が増えた。
- ・ちょこっと就労者との会話を楽しみにしている利用者もいる。
- ・職員との関わりの時間が増えたため、不穏な状態であることが少なくなったように思われる。
- ・利用者との関わる時間もあるため、一部の利用者は会話の時間が増えロビーで過ごす時間が増えた。
- ・利用者との関わる時間を以前より持つことができ、要望等に早く対応できることで満足してもらえるようになった。待たせてしまっていたことが減ったので良かったし、人材が少ない時間帯に増えたので、利用者からもコミュニケーションをとる機会がみられるようになった。

★導入が進んでいる施設からはメリットとして、業務の負担軽減の効果のほか、職員や職場への良い影響、ひいては利用者への良い影響につながったという意見が寄せられました。

★地域に根差す介護事業所として、高齢者等の社会参加の場、介護についての理解を働きながら深めてもらう場を提供することは、社会貢献にもつながります。

## 3 ちょこっと就労者の声

・「ちょこっと就労」は、施設側のメリットだけではなく、働く側にとってもメリットがあります。

### ● 就労者のちょこっと就労をやってみたと思った理由

- ・家にいるとすることがない時間があるって、その間どこかで人の役に立てることがあればと思った。
- ・身体の元気な間は身体を動かして働いた方が良かった。
- ・定年になり家族の介護をしていて手があいてきたときに、もう一度介護という仕事で少しでもお手伝いできればと考えた。両親がお世話になっている分、私が出来なかった事を少しでもできればとの思いでやってみたい。
- ・年なので仕事はできないと思っていたが、数日で数時間ならやれると思った。(認知症防止等のためにも)
- ・少し社会と関わりを持ちたかった。
- ・身体を壊していたため、働くことに自信が持てずにいたが、週数回、短時間で働くことができ、ゆとりをもって1日を過ごすことができると思ったため。
- ・生前良くしていただいた母や何もしてあげられなかった夫への感謝やお詫びの気持ちから何か恩返しみたいな形の事をしてみたいと思った。これから高齢化社会に向けて自分自身もその仲間入りをし、日々思い悩む介護の現場に飛び込んで見識を深めたいと思った。
- ・現在の能力が過去に働いていた時より通用しないので、自信をつけるために少しからと思ったため。

### ● ちょこっと就労をやってみた感想ややりがい

- ・最初は慣れない仕事で戸惑ったが、ありがとうと笑顔で言われたときは喜びとやりがいを感じる。
- ・数時間なので続けられると思った。若い人と仕事もできるので、楽しいし、仕事もやれると思った。
- ・今までやった事のない仕事なので、すごく勉強になる事がある。少しでもお手伝いが出来ればと思う。
- ・楽しい。介護を通して人と人のかかわりが大事だと思った。
- ・毎日が充実して楽しくさせていただいております。何より利用者さんが喜んでもらっているのが嬉しい。
- ・家族の介護をしていていろいろ勉強になる事がある。勤務時間が短いから、精神的にも肉体的にも楽である。職員さんのなげない言葉で少しは役に立っているのかなあと思う。(自分にとってやりがいがある、うれしいと思う。)

★「ちょこっと就労」は、フルタイムでは体力的、時間的に難しい人にとって、自分のライフスタイルに合った働き方ができる場として、ニーズがあります。

★就労を通して、社会とのつながりや、生きがいを感じている方が多く参加しています。

## 4 ちょこっと就労を導入する際のポイント

ちょこっと就労の導入によるメリットがある一方、新しい就労形態の導入ということで、課題や困難さを感じたりしているという意見もあります。

これまでに参加事業所に発生した課題と、事業所が工夫した改善点等について紹介します。

### 1 業務を覚えるのに時間を要する



#### 発生した課題

- ・毎日出勤するわけではないので、業務に慣れるのに時間がかかる。
- ・同じことを何度も繰り返し説明する必要がある。

#### 改善のための取組み

- ・理解されるまで、同じことをくりかえし OJT を行っている
- ・文字のマニュアルよりも、写真などで見える化を進めている。(写真上に、スイッチの説明を入れ込むなど)



・初期は慣れるまで定期的に声をかけたり、わからないことがないか聞くことで定着率が上がった。

## Point

★ちよこっと就労者には、高齢者の方や、今まで全く違う仕事をしてきた方も多くいます。勤務時間が短いこともあり、新しいことを覚え、仕事に慣れるのに時間を要することがありますので、根気強い指導や、わかりやすい伝達方法の工夫が定着につながります。

## 2 新しい業務へ対応できずにすぐ辞めてしまう



### 発生した課題

- ・仕事を頼んだが、数日で「できない」と言って辞めてしまった
- ・入職前に業務内容を伝えているが、改めて実践してもらおうとできないことがある



### 改善のための取組み

- ・最初は業務量を抑えめにし、余力があるようであれば、本人の能力にあわせて徐々に時間を延ばしたり、他の業務を依頼する。

## Point

★ちよこっと就労で働く人は、働くこと自体が久しぶりで不安に感じている場合があります。スムーズに職場に慣れようには、まず「これくらいならできる」と自信をもってもらうことも重要です。

## 3 想定している業務以上のことを行おうとする



### 発生した課題

- ・自分の考え等を職員に提案してくれ、助かるのだが、過剰になる時がある。
- ・自身の経験則や思い込みで、お願いしている業務以外の事を独断でしてしまう事がある。
- ・職員側が、つい本来の業務外の仕事をお願いしてしまうことがあった。



### 改善のための取組み

- ・事前に業務の切り分けをきちんと行い、職員とちよこっと就労者の双方に説明する。
- ・その都度それ以上のことはなくても良いことを納得するまで、説明を行う。

## Point

★ちよこっと就労に参加される方は、社会参加に前向きな方、やる気のある方が多いです。その情熱のあまり、指示された以上のことをよかれと思ってやろうとする場合があります。

★ちよこっと就労者の業務を決めるにあたり、利用者の直接的な介助に関する部分に関しては専門的な技能を要するため、事前にきちんとした線引きを行い、介護職員とちよこっと就労者の双方に業務分担の十分な説明を行うことが重要です。

★ちよこっと就労者が介護職の経験がある方や、入職後に施設内で研修を行う場合などは、介助に携わることも可能かと思われませんが、採用時に十分な説明が必要になると考えられます。

- 上記はこれまでに導入した施設であった事例ですが、通常の雇用と同じく、面談等で就労条件や人となりを確認したうえで、採用の判断をしていただくこととなります。
- あらかじめ、何曜日に何時間、どの時間帯に必要なかを把握しておきましょう。



# 5 ちょこっと就労が目指すもの

ちょこっと就労が適切に導入されることで、介護に関わる関係者に広くメリットが期待できます。



## 介護職員

介護職員が介護業務に専念でき、介護の質が向上する。

## 利用者



介護の質が高まることにより、満足度が向上する。



## ちょこっと就労者

生活に張り合いを持たせるとともに、家計に余裕を持つことができる。

## 介護施設



介護職員が余裕を持つことで職場満足度が向上し、人材不足の解消につながる。



## 地域行政

高齢者等が活躍の場を見つけることで、自立共生的な社会を実現できる。

## ちょこっと就労に期待される効果

介護職員の負担を減らし、介護の質を高めることと、介護人材の確保・定着は、相互に影響を与えていると考えられます。ちょこっと就労の導入により、良い影響を与え合う正のループの実現を目指しています。

